

2026年1月14日

報道関係者各位

兵庫医科大学

「エコチル調査公開講座」を開催 ～子どもたちが健やかに成長できる環境の実現を目指して～

兵庫医科大学(学長：鈴木 敬一郎、兵庫県西宮市)は、環境省が実施する「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査*)」の全国15拠点の一つとして、エコチル調査兵庫ユニットセンターを設置しています。当センターでは毎年、調査参加者の皆さんをはじめ、広く一般の方々に調査の内容や得られた成果について知っていただくために、公開講座を開催しています。本公開講座を通して多くの方々にエコチル調査への理解を深めていただくとともに、子どもたちが健やかに成長できる環境について考えるきっかけになれば幸いです。当日はエコチル調査で得られた最新の研究成果をご紹介するほか、特別講演として、近年多発している自然災害に備えるべく、防災について関西大学社会安全学部 教授の近藤 誠司氏をお招きしてお話しいただきます。

*エコチル調査：子どもの健康や成長に影響を与える環境要因を明らかにし、子どもたちが健やかに成長できる環境の実現を目指し、環境省が主体となり実施している「子どもの健康と環境に関する全国調査」のことです。

【開催概要】

日時：2026年2月28日(土)

14:00～15:30(開場13:30)

会場：尼崎市女性センター・トレピエ

講師：プログラム①「エコチル調査でわかつてきたこと」

兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター長・小児科学主任教授 竹島 泰弘

プログラム②特別講演「南海トラフ地震に立ち向かう～我が事にする、我々事にする～」

関西大学社会安全学部 教授／京都大学防災研究所 客員教授 近藤 誠司 氏

※本公開講座の参加料費は無料です。どなたでもご参加いただけます。

申し込み方法：兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンターまでお電話でお申し込みください。

電話番号 0120-456-019 (平日 8:30～17:00)

「エコチル調査でわかつてきしたこと」(講演：15分)

エコチル調査とは、環境中の化学物質が子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにすることを目的とした調査です。全国で約10万組、兵庫県では尼崎市の約5,000組の親子にご協力いただき、お子さんがお母さんのお腹の中にいる時から長期にわたり、定期的に調査を進めています。今回は、エコチル調査で明らかになってきたことについてお話しします。調査にご参加いただいている皆さまはもちろん、私たちを取り巻く環境が人に及ぼす影響や子どもの成長・発達に関心のある方、これまでエコチル調査を知らなかった方も、ぜひこの機会にご参加ください。本公開講座を通して、将来、子どもたちが健やかに成長できる環境や、安心して子育てができる環境について皆さまと一緒に考えたいと思います。

特別講演「南海トラフ地震に立ち向かう～我が事にする、我々事にする～」(講演：60分)

2026年は、前回の南海トラフ地震である、昭和南海地震の発生から80年となる節目の年です。南海トラフ地震は、概ね100年～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震であり、現在は次の南海トラフ地震発生の緊迫性が高い状態とされています。本講演では、「みんなのぼうさい」をスローガンに、子どもやお年寄り、障がい者や難病患者の防災力向上を目指すプロジェクトを全国で展開されている関西大学教授の近藤誠司氏に南海トラフ地震への具体的な対応策についてお話しします。この講演を通して、地震を他人事と考えずに我が事として、今できる備えについて考えていただけたらと思います。

【本件に関するお問合せ】

兵庫医科大学 広報課

電話番号 0798-45-6655 ／ E-mail kouhou@hyo-med.ac.jp